『重心の諸課題について』

**【主訴】**

|  |
| --- |
| **・重心の方が利用できる事業所がない** |

**【背景】**

|  |  |
| --- | --- |
| ★なぜ利用できる事業所がないのか★★メリットがない（リスク＞重心の生活）＜財政的補助＝メリット＞☆補助金等の裏付け☆まずはサンセットでやってみる＊財政当局

|  |
| --- |
| ＜安全性の確保＞☆踏み込めない原因…\*調査（事業所、家族） |

 |

**【現状】**

|  |
| --- |
| ★★社会の中で焦点を当てられてこなかった＜守る会など当事者活動が発起＞・広報・研修・行政、学校に対する要望活動など※きっかけが大事（阪神淡路大震災など…\*\*青葉園）☆虐待防止の観点◎アンケート調査 |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| ★★親亡きあとを考えると入所施設しかない！★★親がベッタリ（親が、学校などから要求）＜親と離れる場の確保が急務＞・学校、放課後支援

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ＜日中の場の確保が急務＞・デイサービス・就労支援…活動・当事者活動☆社会福祉協議会の協力

|  |  |
| --- | --- |
| ＜自立心＞・本人の意思、人生を生きる…\*検証 | ＜親離れ＞・親自身の自立、人生を生きる…\*検証 |

 |

 |

|  |
| --- |
| ★★生活の場が少ない★★緊急時の受け入れの場が少ない★★親元だと支援が繋がっていなければ、虐待につながる場合がある＜生活の場の確保が急務＞・一人暮らし・ショートステイ・親元（ホームヘルパーは必須）・GH,CH◎社会福祉法人、第三セクターの責務？☆モデルケース…\*検証（当事者、事業者） |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| ★★地域生活体験をする場は皆無＜地域生活体験を検討＞・（先輩の家で）下宿・体験室・GHの空き※本人用の介助者（親以外）の確保が前提☆行政責任；重心の地域生活保障☆事例の積み上げが必要

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ＜地域生活を検討＞☆地域移行推進部会の創設

|  |  |
| --- | --- |
| ＜自立生活を模索＞・第三者後見人☆自己決定とは？（考えておく必要性）

|  |
| --- |
| ＜モデル＞\*\*青葉園（西宮） |

 |

 |

 |

|  |  |
| --- | --- |
| ★★良い人材がいても続かない＜人材の確保＞・人材育成・質の担保☆研修の実施（補助金の活用）☆意識として（重心であっても当然）社会の一員であるということ

|  |
| --- |
| ＜雇用創設＞☆数値的裏付け…\*検証（雇用当局） |

 |

